



国民の森林・国有林

# 広報

か

な

ぎ

津軽森林管理署 金木支署

No 184

2005.11.30

## C D版森林環境教育資料

### 「語り継ごう！屏風山の森林を」 上映会等開催

屏風山の森林に関するスライドの上映会を、11月11日、屏風山の懐に抱かれたつがる市立館岡中学校で行いました。

当日は、一年生25名が参加し、屏風山の歴史や森林の価値などについての支署長の説明を熱心に聞いていました。

また、11月15日には、寒風の中でしたが、スライドで説明した治山施設やゴミの不法投棄現場などを実際にバスで見学しました。

1日や2日の説明で全てを分かってもらうという訳にはいきませんが、少なくとも子供達の心に、屏風山の森林の大切さについての種を播いたのかと思っています。

可能であれば、他の中学校においてもこのような活動を、継続していきたいと考えています。



写真上：趣旨を説明する支署長

写真中：熱心に見入る生徒

写真左：寒風の中治山施設「消波ブロック」を見学する生徒

037-0202 青森県五所川原市金木町芦野200-498 TEL(代)0173-53-3115・FAX 0173-53-3197

この用紙は間伐材を使用しています(間伐材10%：古紙90%)

## 金木産業・文化まつりに ヒバ製品を展示即売

11月3～5日にかけて、五所川原市の金木地区（旧金木町）で開催されました。

当支署では、3日と4日に参加し、地元の農産物を利用した試食会や特産品の販売など多くの出店があった中、職員手作りの丸太を割った花台やまな板など、ヒバ製品を数多く用意し展示即売を行いました。

特に、丸太を割った花台は好評で、「注文するから作ってー！」との声が多くあり、来年のまつりに向けての闘志が沸々とする二日間でした。



上：持ち運び簡単な小型ベンチ

左：注文が殺到(?)した花台

### ◆ 11月の公売結果 ◆

立木 スギ外皆伐（分収育林）約 1,860 ㊦、2カ所を1口として出材しましたが応札無しの結果となりました。

#### 素材（委託販売）

- ・ 11月 9日（青森県木材協同組合）  
ヒバ丸太 33口、約 285m<sup>3</sup> を出材し、落札は 23口、70%となっています。
- ・ 11月 24日（青森県木材協同組合）  
ヒバ丸太 37口、約 130m<sup>3</sup> を出材し、落札は 30口、81%となっています。
- ・ 11月 28日（青森県森林組合連合会）  
ヒバ丸太 2口、約 16m<sup>3</sup> を出材し、落札は 100%となっています。  
スギ丸太 20口、約 325m<sup>3</sup> を出材し、落札は 100%となっています。

**歳時記「冬至」**

暦の冬は立冬から翌年の立春前日までをいいますが、そのちょうど真中にあたる日（十二月二十一日頃）を冬至といえます。北半球では正午に太陽の高度が一年中で一番低く、昼の長さが最も短くなるときです。

気象的には冬はこのころからが本番です。北日本や山間内陸部は別ですが、関東以南で霜が降りたり氷が張ったりする気温になるのは冬至が過ぎたあたりから。ことわざに言う「冬至冬なかりはじめ」は、暦の上の冬と気象上の冬の間係をずばり表現していると言えるでしょう。

太陽が最南に位置する冬至は、古代中国の天体思想では太陽運行の出発点とされてきました。冬至を太陽の誕生日とする考え方は西洋にもあり、イエスの生誕を祝うクリスマスも冬至に合わせて定められたと言われています。クリスマスの日付が二十五日なのは、天文学の知識不足のため日はずれたというのが定説です。

古代からの冬至の風習は、さまざまな形で今日に伝えられています。小豆がゆ、カボチャ、コンニャクなど特定の食物を食べるのもその一つ。これはこの時期には珍しくなる野菜類を冬の祭りに供えた風習が受け継がれたものとされています。また、地方によつては冬至にレンコンやミカン、ダイコンなど「ん」がつく食物を七種食べると運を呼ぶ、ゆず湯に入るとかぜをひかないなどの俗信があり、今に受け継がれています。（広報通信）